

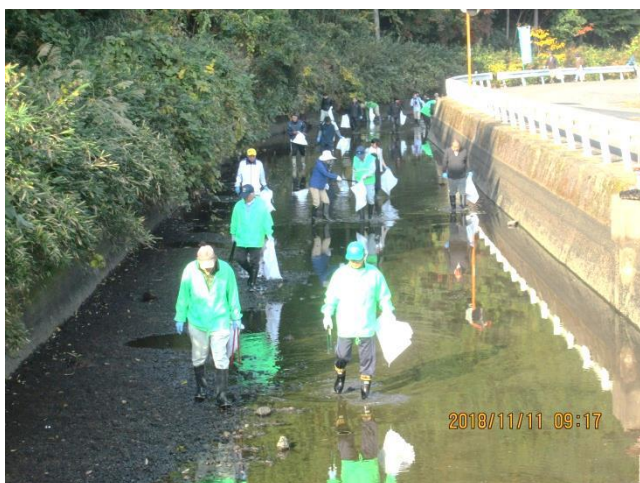
住民主体のまちづくり

No.59 2018. 12

編集発行：車尾まちづくり推進会議 事務局

■ 米川清掃

今年、11月11日（日）秋晴れの下、行われました。130名以上の参加者があり、あっという間に川底がきれいになりました。水たまりには小魚がたくさん居り、子どもたちは追いかけてまわして、日頃経験しない時間を楽しみました。また、水門に溜まったゴミを取り除いた後、甲羅の直径30cm以上のスポンが現れました。清流が維持されている証だと思われます。



上流に向かう参加者



水門に溜まったゴミを取るぞ！
ゴミを除去した後に、スポンが現れました。

■ 観音寺山の里山づくり

観音寺山は通称“水道山”と言われ1924（大正13）年に標高61m余りに配水池が築造され高低差を利用した各戸への自然流下配水方式を採用してきました。

この観音寺山を、観音寺・戸上の活動団体「さんさん会」と車尾地区環境をよくする会で、里山として整備しサクラとモミジで彩り、また浸水等の避難場所になることを目指しています。そして手始めに11月10日（土）午前9時から5、6人で尾根の枝切りが行われました。



枝切りをする参加者

自分たちのまちは自分たちで（ つくる つなぐ つづける ）